

A. “多様な異質との共存”武者修行

海外協定大学等への短期留学や短期研修プログラムを活用して、異文化環境下でSDGs関連の議論や活動を実体験し、自らの専門知識と異分野の知見を活用して多角的に考え、諸課題の対応策を提案する機会を提供します。異空間での思考力及びプレゼンテーション能力、交渉力、合意形成力、行動力の4つのスキルセットの向上を図ります。

A'. 海外企業インターンシップ

日経・ローカル企業にて、異文化の下で多宗教・多文化を理解しながら、英語を使いインターンシップを行います。訪問先は、準公用語が英語で、世界の企業が進出するグローバルマーケットです。（マレーシア、ベトナム等）オンラインの事前講義及び現地渡航4週間程度。

B. 国費外国人留学生との学際的 社会体験型研修イベント

国費外国人留学生とともに国内研究機関へ1泊2日の派遣研修を行います。英語による施設見学や講義を通して、現場を体験することによる実践能力を身につけます。①英語力の向上、②多国籍的な文化体験、③学際的な交流の機会を海外に渡航することなく効率的に提供します。

イノベーション創出に資する 次世代研究者エンパワメントプログラム

エンパワメントコンテンツ



C. 外部機関におけるインターンシップ

『企業と博士人材の交流会』（名古屋大学主催）へ参加し企業の方々と交流します。また、本学の「医療創薬デザイン人材養成フェロシップ」において設立されたコンソーシアムに参画する企業のうち、研究所を有する企業（アステラス製薬、日本メナード化粧品、東ソー、ウシオ電機、伸晃化学等）でのインターンシップに参加し、企業での研究や課題解決を体験します。



D. ジョブ型研究インターンシップ

研究遂行の基礎的な素養・能力を持った大学院学生を対象とした長期間（原則として2ヶ月以上）かつ有給の研究インターンシップで、正規の教育課程の単位科目として実施します。Acaricにプロフィール登録し、マッチングした企業で各々インターンシップを実施します。



E. 研究科横断的副指導教員制度

本プログラムに参加する全ての学生に、全研究科の中から副指導教員を設定します。メンターに対して自らの研究目的・研究内容・進捗の程度・社会課題解決への貢献についてプレゼンテーションを行うことにより、新たな視点からのアドバイスが得られることが期待されます。また、自身の専門分野と異なる人々に対し、理解しやすい説明を心がけることでプレゼン力を涵養します。

F. 英語プレゼンテーションコース

国立遺伝学研究所の協力を得て、「英語」と「科学的思考」の両方の能力を向上させるプレゼンテーションコースを設置します。英語のトレーニングは、単に日本語を解さない人々とのコミュニケーション力を高めるのみでなく、研究者の育成において、思考回路から曖昧さ、甘さ、既成概念を除くことができるという点に大きな意義があります。

イノベーション創出に資する次世代研究者エンパワメントプログラム

概要

本プログラムでは、着実・堅実な研究力に上乗せする形で、①プレゼン力②交渉力③合意形成力④行動力、というスキルセットを獲得させること（エンパワメント）を目的としています。学生は、自身の「4つの力」をさらに伸ばすため、もしくは足りない力を補うために、事業統括やメンターの意見も参考にして参加するコンテンツを選択します。

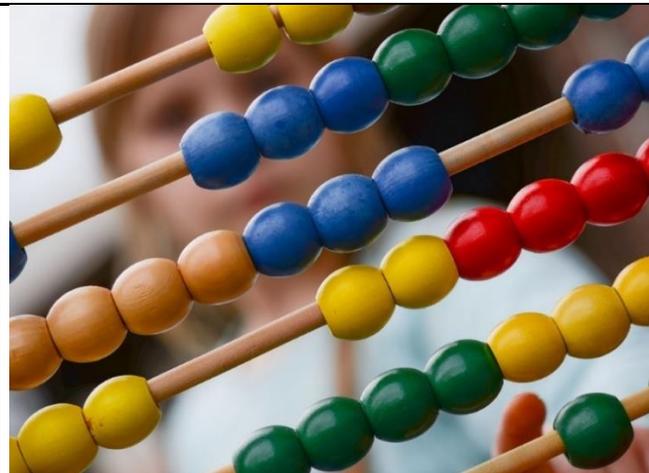
I'. ジェネリックスキル評価

どのような職種・職務にも共通する汎用的技能（ジェネリックスキル）を測定し、自己理解を深めてキャリア開発の方向性と実践行動を考えるための情報を提供します。基礎力要素の発揮状態、職業志向をわかりやすくグラフ化し、一人ひとりに思考特性と行動特性の「強み」と「弱み」、能力発揮のための観点をフィードバックします。定期的実施することで、ご自身のリテラシースキル、コンピテンシースキルの成長を見える化します。



G. データサイエンスの基礎の習得

MATLAB（プログラミング及び数値計算プラットフォーム）の基礎講座や統計解析の講義を受講、またはデータサイエンスリテラシーに関する教養教育科目をオンデマンドにより聴講することにより、文理を問わず現代の先端研究において必須のスキルであるデータ科学的技術を学びます。



I. キャリアデザインコース

自身が将来的に何を達成したいか、そのためにはどのような力が必要か、いま持っている力は何か、これから付けるべき力は何かなどを明確にする時間を設け、自身のキャリアパスを作成します。作成にあたっては、大学教員、企業研究員として働いている方々、あるいは起業した方々に話を聞く機会を設け、研究を社会に活かす方法、手順、やりがいなどの情報を得る機会を積極的に設けます。

K. 最先端研究機器や研究手法に関するセミナー・スキル取得コース

本学の共用機器センター等の協力のもと、最先端の研究機器や手法に関するセミナーを実施し、最先端の実験技術に触れる機会を提供します。

エンパワメントコンテンツの内容については、自身の研究科の担当教員にお尋ねください。

医学研究科 教授・澤本和延 (sawamoto@med.nagoya-cu.ac.jp)
教授・安井孝周 (yasui@med.nagoya-cu.ac.jp)
薬学研究科 教授・平嶋尚英 (hirashim@phar.nagoya-cu.ac.jp)
経済学研究科 教授・鶴飼宏成 (ukai@econ.nagoya-cu.ac.jp)
人間文化研究科 教授・中川敦子 (nakagawa@hum.nagoya-cu.ac.jp)
芸術工学研究科 教授・辻村誠一 (tsujimura@sda.nagoya-cu.ac.jp)
看護学研究科 教授・山邊素子 (sakura33@med.nagoya-cu.ac.jp)
理学研究科 教授・木村幸太郎 (kokimura@nsc.nagoya-cu.ac.jp)
データサイエンス学部 教授・横山清子 (yokoyama@sda.nagoya-cu.ac.jp)

J. ブラッシュアップセミナー

研究ステージ（基礎研究、応用研究、開発研究、実装）で必要となる能力要件が異なることを体験的に理解し、将来経営人材と協働する疑似体験の機会を設けます。前半は未来デザイン考程手法を用いた事業コンセプト、ブランドデザイン、中核商品アイデア設計、後半は、仮想プロトタイプづくり、POC、ビジネスプランづくりを行います。

L. 3大学博士学生交流会（仮称）

名古屋工業大学博士後期課程学生が主体的に運営している交流会に参加し、ポスター発表・意見交換などを通して他分野間交流を行い、知見を拡げ、自身のキャリア開発に繋げる機会を設けます。名古屋工業大学、名古屋大学、名古屋市立大学の共同開催イベントです。